

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 22.11.26 第 176 回国会第 7 号

11月26日(金) 第7回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件 (B型肝炎問題)

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

(参考人) 肝炎対策推進協議会委員

小児難病センター医師

全国B型肝炎訴訟弁護士・全国連絡会代表 弁護士

東京慈恵会医科大学客員教授 中央労災医員

独立行政法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター長

天 野 聰 子君

香 坂 隆 夫君

佐 藤 哲 之君

戸 田 剛太郎君

溝 上 雅 史君

(質疑者及び主な質疑内容)

福 田 衣里子君 (民主)

- ・肝機能障害の障害認定基準が厳しすぎるという意見について溝上参考人の意見を伺いたい。
- ・予防接種とB型肝炎ウイルス感染との因果関係を確実にするには父子感染や成人後感染の可能性を否定するため父親の血液検査とB型肝炎ウイルスのジェノタイプの検査が必要だと考えるか戸田参考人の見解を伺いたい。
- ・B型肝炎訴訟の原告の弁護士として、提訴してから、平成18年の最高裁判決を得るまでの17年間の思いと、また、現在改めてB型肝炎訴訟に取り組む中でどのような解決策を求めているのか佐藤参考人に聞かせたい。

加 藤 勝 信君 (自民)

- ・B型肝炎訴訟において平成18年の最高裁判決はどのように位置付けられるものと考えているか佐藤参考人の見解を伺いたい。
- ・無症候性キャリアについては除斥期間の問題と発症確率の低さから国は一時金の支給対象外とする方針を示しているが、無症候性キャリアの方々も、職場での差別や家庭内感染の不安を抱え、苦しんでいることについて佐藤参考人にお話いただきたい。
- ・国は、和解金の支給総額を2兆円から8兆円程度かかると試算し、増税の可能性にも言及したことについて佐藤参考人の意見を伺いたい。

古 屋 範 子君 (公明)

- ・天野参考人に肝硬変、肝ガンの患者の家族に対する支援策について要望をお聞かせいただきたい。
- ・肝炎に関する研究体制の拡充と肝炎治療の専門医の育成について香坂参考人の意見を伺いたい。

- ・肝炎のウイルスの感染予防のためには国としてどのような対策が必要か戸田参考人の意見を伺いたい。

高 橋 千鶴子君 (共産)

- ・B型肝炎訴訟の和解協議において、無症候性キャリアを含めた原告全員の賠償請求権を認めた平成18年最高裁判決が活かされていないこと、また、薬害肝炎と比べて因果関係が弱いと国が主張していることについて佐藤参考人の見解を伺いたい。
- ・国が示したB型肝炎の和解案において、肝硬変の患者に対する補償金額について重症と軽症とで差異を設けたことについて天野参考人の見解を伺いたい。
- ・国は、集団予防接種とB型肝炎の因果関係が不確実であると主張する一方、和解金額の試算においては、予防接種起因率や提訴可能性を過大に見積っているのは矛盾していると考えが佐藤参考人の所見を伺いたい。

阿 部 知 子君 (社民)

- ・平成18年最高裁判決は、国がB型肝炎ウイルスに感染させたことに対する「慰謝料」として、無症候性キャリアを含めて全員一律の支払いを認めたと考えるが、この点について現在の和解協議において原告は国とどの程度話し合いを行っているか佐藤参考人に伺いたい。
- ・無症候性キャリアは、現在発症していなくてもいつでも発症し得ることから肝炎対策としてどのような対処が必要か香坂参考人の見解を伺いたい。
- ・肝硬変の重症度によって和解金額に差を設けることは妥当でないと考えるが戸田参考人の所見を伺いたい。

柿 澤 未 途君 (みんな)

- ・参議院厚生労働委員会におけるB型肝炎問題に関する川田龍平委員の質問に対する岡本厚生労働大臣政務官の答弁は、平成18年最高裁判決が認定した国の責任を軽視したものと受け止められるが、この答弁に対する佐藤参考人の所感を伺いたい。また、薬害問題とB型肝炎問題とでは国の責任のあり方が違う旨の菅総理大臣の発言についての所感も伺いたい。
- ・B型肝炎訴訟の和解協議において、国が財源論を持ち出したことは原告を辛い立場に追いやるものと考えているが、財源論が原告にもたらした心理的影響について佐藤参考人の見解を伺いたい。
- ・無症候性キャリアの方の抱えているリスクを適切に判断する方法について溝上参考人の見解を伺いたい。

2 労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の就業条件の整備等に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出、第174回国会閣法第60号）

- ・細川厚生労働大臣から提案理由の説明を聴取しました。